

わだち

令和2年9月4日 第20号

体育大会を お楽しみに

いよいよ来週に迫ってきた体育大会。まず、今年は、コロナ禍のために規模を縮小しての体育大会となりますことが残念でなりません。

しかし、学園の子供たちは、コロナ禍であっても産山村を元気にする体育大会にしようとがんばってくれています。

ホームページで副校長先生が紹介しておりますようにサード・ステージの8・9年生を中心に応援団が組まれています。今年の体育大会は、赤白が競い合うものではなく、産山村の応援団なのです。ホームページには、このように紹介されています。「…大会の規模はやむを得ず縮小しますが、学園生と職員の思いは例年と変わらず熱く燃え、やる気に満ちています。大会テーマ

OneTeam～感謝の心と一生懸命な姿で、元気100倍学園生」このテーマには「今だからこそ地域を元気にしたい」「勝敗を競うのではなく団結をめざす大会にしたい」という思いが込められています。…(中略)…8年生に寄り添う9年生の優しさ。9年生の期待に応える8年生の真剣さ。…」とあります。

本番が楽しみでなりません。 村上 拝

負けんばい熊本！ 産山学園生徒会が今できること。豪雨災害支援！

令和2年7月豪雨では、県南部を中心に、床上浸水や家屋損壊多数、死者数65名という甚大な被害が発生しました。また、夏の暑さやコロナウイルス感染拡大の影響を受け、ボランティアが不足し、災害復旧がなかなか進まない現状にあります。

「自分たちにできることはないか！」夏休み前から、生徒会は話し合いを重ね、「床上浸水し、被害が大きかった球磨村立渡小学校を微力ながら支援する」ことを議決しました。

支援方法は2つ。募金と応援メッセージです。募金は、学園や村役場で募り、合計金額は53,481円となりました。全額を渡小に届けます。募金にご協力いただいた方すべてに感謝申し上げます。メッセージは、1～9年生全員が関わって作成。「つらいことが多いと思いますが…」などのきつさに寄り添う言葉や、「応援しています！」などの励ましの言葉は、きっと渡小の子供たちや先生方の心に届くと思います。

最後になりましたが、2ヶ月前、豪雨被害に遭われた皆様方に心より哀悼の意を表します。 今村 拝

